令和6年7月門川町定例教育委員会会議録（概要版）

- 1 日 時 令和6年7月22日（月） 午前9時00分～午前11時54分
- 2 場 所 庁議室
- 3 出席委員 金子文雄教育長、新名章教育長職務代理者、黒木昌代委員、金丸眞委員、山倉照子委員
- 4 事務局 大澤教育課長、川越教育課長補佐
- 5 議 案 議案第10号 令和6年度門川町学校安全連絡協議会委員の委嘱について
議案第11号 令和5年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価について
議案第12号 令和7年度使用教科用図書の採択について
- 6 その他
 - ・令和6年度県北教育委員研修会について
 - ・教育委員会8月の行事予定について
 - ・8月定例会の日程について

7 会議の概要

(1) 開会（午前9時00分）

(2) 会議録の承認

教育長から6月定例教育委員会の会議録の承認が諮られ、承認された。

(3) 教育長あいさつ

- ・今朝の門川町一斉ラジオ体操には子どもたちだけでなく、門川高校・門川中学校のボランティアの生徒など多くの方の参加があり盛り上げてくれた。子どもたちには有意義な夏休みを過ごしてほしいと思う。

(4) 教育長報告

・7月業務報告

- 1日 社会を明るくする運動総理大臣メッセージ伝達式
令和6年度東臼杵郡公民館連合会理事会・総会
- 3日 県北法人会門川支部図書購入寄付金贈呈式
令和6年度宮崎県校長会・東臼杵支会研修会・総会
郡内町村教育長会
- 8日 学校組織・経営マネジメント訪問
- 9日 管内教育長等会議
- 10日 7月定例校長会
行財政改革構想審議会
- 11日 第1回拡大大学校運営協議会

- 12日 門川中キャリア教育講演会
門川町学校保健会総会
- 16日 五十鈴川流域森と水を守る協議会総会
- 19日 令和6年度宮崎県市町村教育委員会連合会総会
- 20日 第31回東九州小学生ソフトボール選手権大会（1日目）
- 21日 第31回東九州小学生ソフトボール選手権大会（2日目）
- 22日 門川町一斉ラジオ体操
7月定例教育委員会
- 23日 第1回学校安全連絡協議会
- 24日 定例課長会
- 25日 延岡税務署来庁
教育研究所情報交換会
- 26日 町立小中学校教職員人権教育研修会
- 31日 第57回東臼杵郡健康教育大会（オンライン）

・7月校長会の報告

金子教育長が校長会資料に沿って報告

＊臨時校長会

①本町の生徒指導体制について

＊定例校長会

- ①学校経営について 1学期の反省を踏まえた見直し
- ②人材育成について 個々に応じたキャリアアップ、自己研修
- ③危機管理について 学校安全指導の推進
- ④学力向上について ユニバーサルデザイン視点での授業づくり
- ⑤生徒指導について 一枚岩の生徒指導体制の確立、声かけ事案の対応
- ⑥家庭・地域との連携について 拡大学校運営協議会を中心とした地域との連携
- ⑦はぐくもう！ふるさと愛！小学校“乙島”体験事業について 成果と課題
- ⑧フッ化物洗口について 町の取組として実施を検討（モデル校での実施）
- ⑨人材確保について 講師依頼

(5) 議事

議案第10号 令和6年度門川町学校安全連絡協議会委員の委嘱について

緒方教育課主幹が資料に沿って説明

学校安全連絡協議会は、年間計画に沿って年3回の開催を予定している。令和6年度については町一斉避難訓練及びSPS（セーフティープロモーションスクール）認証校の門川中学校及び県立門川高等学校の取組について協議し、町内児童生徒の危険回避能力の育成を目指すこととしており、名簿のとおり20名を委員として委嘱したく諮るものである。

- 金子教育長 承認いただけるか。

○委員 はい。

議案第 11 号 令和 5 年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価について

川越教育課長補佐が資料に沿って説明

6 月定例会において、事前に提示していた自己点検・評価シート案について教育委員会に諮るものであり、学識経験者の知見を求めたうえ、9 月町議会に報告を行う予定である。

●金子教育長 承認いただけるか。

○委員 はい。

議案第 12 号 令和 7 年度使用教科用図書の採択について

黒木学校教育係主査が資料に沿って説明

令和 7 年度は中学校で使用する教科用図書の採択を行う年であることとなっている。小学校は教科用図書の採択替えを行わない年であることから、次年度についても現在使用している教科用図書を採択することとなっている。

については、中学校の令和 7 年度使用教科用図書について、教科ごとに審議をお願いしたい。

●金子教育長 まず、小学校用教科用図書については、採択替えを行わない年であるため、次年度についても、現在使用している教科用図書を採択することを承認していただけるか。

○委員 はい。

●金子教育長 続いて、中学校用教科用図書の採択を教科ごとに行いたい。

以後、技術、家庭、音楽（一般・器楽）、美術、保健体育、理科、数学、国語、書写、社会（地理・歴史・公民）、地図、外国語、道徳の順に審議のうえ、多数決により教科用図書を採択する。

●金子教育長 以上、教科ごとの教科用図書を採択することを承認いただけるか。

○委員 はい。

●黒木学校教育係主査

ご覧いただいた資料には、9 月 1 日以降に公表予定となっているものも含まれているので、各委員には配慮をお願いしたい。

(6) その他

・令和 6 年度県北教育委員研修会について

日程及び開催地について川越教育課長補佐が説明

・教育委員会 8 月の行事予定について

川越教育課長補佐が資料に沿って説明

・ 8月定例会の日程について

8月26日（月）午前9時から

○黒木委員

8月の行事予定にある英語研修派遣事業の場所は今年は青島ということだが、どういった内容で実施するのか。

●川越教育課長補佐

外国人の講師を派遣していただき、英語での講座やゲームなど様々なアクティビティを取り入れたイングリッシュキャンプという形で実施する。約20人の生徒に対し5人の外国人講師が配置される予定となっている。

●大澤課長

以前のような海外派遣も検討したが、円安の関係で保護者負担がかなり大きくなるため実施困難と判断した。

○黒木委員

工夫しながら、子どもたちに英語に親しんでもらう事業を継続することは大事だと思う。

○新名委員

将来的に、海外派遣に戻していくこともあり得るのか。

●金子教育長

海外に行くことは子どもたちにとって非常に大きな経験となるが、やはり負担が大きく、誰もが手を挙げるができない事業になってしまう。今回は国内という選択をしたが、いろんな選択肢があると思う。委員の皆さんの意見も伺いたい。

○新名委員

中学生の時期に国外でホームステイ等をしながら現地の生活を体験することは、お金には代えられない貴重な体験となる。国際感覚を磨くという経験をした子どもが増えていくことは門川町にとってもプラスになることであり、投資だと思う。そういう意味では今回の青島青少年自然の家での研修は、プラス面が小さくなるのではないかという懸念はある。ただし、たくさん子どもたちに経験させるという意味では今回のような形もよいと思う。今の形で固定するのではなく、成果を見て試行錯誤しながらより良い形を作り上げていくて欲しい。

(7) 閉会（午前11時54分）